

石原・浅田研究助成金交付候補研究募集要領

申請締切日・昭和 57 年 7 月 10 日

本会では鉄鋼の学術または技術に関する研究を補助育成する目的をもつて、「石原・浅田研究助成金制度」を設け昭和 47 年度より助成金を交付しております。については、今年度の助成金を交付すべき候補研究を下記要領により募りますので、交付希望研究者は協会所定の様式をもつて応募して下さい。

記

1. 交付対象

鉄鋼の学術または技術に関する研究に従事する本会会員、またはそのグループとし、研究者の年令は原則として 35 才以下とする。(大学院博士課程学生を含む。)

2. 研究期間・内容

研究期間は助成金の交付を受けてから 2 年間とし、鉄鋼に関する学術あるいは技術への寄与が期待され、かつ着眼点または研究手法が独創的な研究とする。

3. 交付金額

総額 200 万円以内(1 件 40 万円、5 件程度)

4. 申請方法

1) 申請者 研究者本人またはグループ代表者

2) 申請方法 協会所定の申請書にその内容を記載し申請するものとする。記載内容の項目は次の通りである

- (1) 研究課題
- (2) 研究者氏名、所属、他
- (3) 研究の目的
- (4) 研究の実施計画、方法
- (5) 研究の特色、独創的な点
- (6) 従来の研究経過、成果または準備状況
- (7) 同種研究の国内外における研究状況
- (8) その他

3) 申請書請求および送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 社団法人日本鉄鋼協会総務部庶務課宛

4) 申請締切 昭和 57 年 7 月 10 日

5. 選考

本会研究委員会が選考内規に基づいて選考を行い、理事会で決定する。

6. 交付決定通知

交付が決定した時は研究者名・研究課題を会誌に会告し、同時に研究者またはグループの代表者に通知する。

7. 助成金の交付

本研究の助成金は研究者の所属する機関に経理を委託する。研究者が大学院博士課程の学生の場合には学生の指導教官を通じて所属大学に経理を委託するものとする。

8. 報告

本研究助成金を受けた研究者は、必ずその研究成果について 3000 字程度の報告書を作成し研究期間終了後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。また研究成果を発表する際には本助成金を受けた旨明記しなければならない。

印刷物として発行された場合には、その送付をもつて報告書に代えることができる。

なお、助成金についての経理報告は省略することができる。

9. 石原・浅田研究助成金について

昭和 33 年以来故石原米太郎殿(当時、特殊製鋼株式会社社長、同社は昭和 51 年 9 月に大同製鋼株式会社および日本特殊鋼株式会社の 3 社合併により、大同特殊鋼株式会社となる)の寄贈により石原米太郎研究資金が設定されその果実をもつて研究助成金の交付を行つておりましたが、さらに昭和 46 年 4 月株式会社神戸製鋼所から寄贈された浅田長平記念資金の毎年の果実の過半も研究助成金にあてるようになりました。そこでこれらを一つにまとめて「石原・浅田研究助成金」と改称して昭和 47 年度から交付しているものです。

第7回真空冶金国際会議 (7th ICVM) 開催のお知らせ

主催 (社)日本鉄鋼協会 共催 (社)日本金属学会、日本真空協会

第7回真空冶金国際会議 (The Seventh International Conference on Vacuum Metallurgy-7th ICVM-) を下記のとおり開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内いたします。

1. 日 時 昭和 57 年 (1982年) 11月26日(金)~30日(火)
2. 会 場 経団連会館内(東京・大手町)
3. 用 語 発表、討論とも英語(通訳はつきません)
4. テ ー マ special meltings and metallurgical coatings
5. 参 加 費 4万円(論文集、パーティ代を含む)
6. 参加申し込み締切 昭和 57 年 10 月 10 日(消印有効)
7. 提出論文 特別講演2件、招待講演30件の他、下記40セッションに国内外合わせて151件の一般論文が発表されます。
8. セッション
 1. superconductors and related films
 2. vacuum evaporation and ion plating
 3. mechanical properties: basis
 4. mechanical properties: application
 5. electrical and optical properties
 6. plasma spraying I
 7. plasma spraying II
 8. properties and characterization of carbon films
 9. structural analysis
 10. amorphous films
 11. protective coatings
 12. plasma surface treatment
 13. sputtering technique and sputtered films
 14. energy conversion and plasma wall interaction I
 15. energy conversion and plasma wall interaction II
 16. advances in vacuum melting technology
 17. physical chemistry of vacuum induction melting
 18. advanced technology of metal powder production
 19. zone melting for high quality material
 20. new application of analytical chemistry
 21. plasma technology and applications I
 22. plasma technology and applications II
 23. powder technology
 24. advances in ladle refining process
 25. ladle metallurgy, state-of-the-art
 26. new process by ladle arc furnace I
 27. new process by ladle arc furnace II
 28. mathematical model of ESR
 29. physical chemistry of ESR
 30. advances in vacuum arc melting
 31. new applications of vacuum arc melting
 32. advances in electron beam melting
 33. VAD/VOD, state-of-the-art
 34. VOD/AOD, advances in equipment and operation
 35. RH, state-of-the-art
 36. DH, advances in equipment and operation
 37. new technology of ESR I
 38. new technology of ESR II
 39. energy saving and heat transfer of ESR
 40. advances in process control of ESR
9. 会議仮プログラム、参加申し込み、又詳しい資料等のお申し込みお問い合わせは下記宛お願いいたします。
〒100 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
(社)日本鉄鋼協会 国際課 (ICVM担当)
電話 (03) 279-6021 内線 24

中 国 四 国 支 部
講 演 大 会 プ ロ グ ラ ム

期日 昭和 57 年 7 月 15 日 (火)

- | | |
|--|--|
| <p>第1会場 (広島大学理学部 2号館 646号室)</p> <p>9:20 支部長挨拶</p> <p>9:30 (1) 分別収集による低 Zn 転炉ダストの回収
日新呉 長谷川雅司</p> <p>9:50 (2) MgO-C レンガと転炉々体放散熱の関係 川鉄水島 水藤 政人</p> <p>10:10 (3) 高炭素鋼の機械的性質に及ぼす合金元素の影響
钢管福山研 福田耕三, 市之瀬弘之
〃 福山 上田 正博</p> <p>10:30 (4) パナジウム添加鋼の軟化特性
東洋工業 ○三輪 能久, 山本 順一
〃 宮田 順</p> <p>休憩</p> <p>11:00 (5) 炭素钢管および低合金钢管の溶接
高温割れに及ぼす化学成分と溶接法の影響
钢管福山研 平林 清照, ○赤尾 一孝
〃 平 忠明, 市之瀬弘之</p> <p>11:20 (6) 連続焼鈍における過時効熱サイクルと固溶C析出挙動
钢管福山研 細谷 佳弘</p> <p>11:40 (7) 連続焼鈍による超高強度冷延鋼板の特性
钢管福山研 木下 正行</p> <p>12:00 (8) カーバイド形態の異なる冷延鋼板の再結晶挙動
钢管福山研 田中 靖</p> <p>昼食休憩 (50分間)</p> <p>13:10 (9) 13Cr 鋼の熱処理ひずみにおよぼす加熱温度と冷却条件の影響
松江高専 ○広瀬 之彦, 山本 誠司
横田製作所 新持喜一郎</p> <p>13:30 (10) 13Cr 鋼の組織および材質におよぼす熱処理条件の影響
新日鐵光 ○末広 利行, 志谷 健才
〃 小野山征生</p> <p>13:50 (11) Low C-22 Cr-Mo, Nb 鋼の母材および溶接部の韌性 (Low C-22 Cr-Mo, Nb 鋼の開発—I)
日新周南 中西 錬</p> <p>14:10 (12) 局部腐食性におよぼす Mo, Cr, S, Nb の影響 (Low C-22 Cr-Mo,</p> | <p>第2会場 (広島大学理学部 2号館 251号室)</p> <p>(1) 2^{1/4}Cr-1Mo 鋼の水素脆化に関する研究
三菱重工広島研 ○小林 義雄, 石橋 保博</p> <p>(2) 遅れ破壊における枝分かれき裂の安定成長条件 広大院 ○竹本 新治, 中佐啓治郎
〃 工 武井 英雄</p> <p>(3) 装飾用ステンレス鋼板の発鏡試験法
東洋工業 ○檜本 浩二, 山本 侃靖
〃 重田 利彦</p> <p>(4) 透過型分析電子顕微鏡による鋼中微小析出物の定量
川鉄水島研 今中 拓一, 下村 順一</p> <p>(10分間)</p> <p>(5) 圧力誘起の磁気変態 広大理 藤原 浩</p> <p>(6) 濃度ゆらぎを含む Al-Zn 合金の時効硬化と復元による軟化
岡大工 太田陸奥雄, 山田 廣志
〃 山田 益男, 横原 清
岡山理科大 金谷 輝人</p> <p>(7) 凝固中の振動エネルギーと結晶粒径との関係 愛媛大工 ○伊藤振一郎, 濱尾 俊弘
〃 篠原 和充</p> <p>(8) Al-Cu 合金におけるGPゾーンの形成と電気抵抗の変化
愛媛大工 ○京極 秀樹, 濱尾 俊弘
〃 篠原 和充</p> <p>(9) 热間静水圧加圧成形技術(HIP)の適用に関する研究
三菱重工広島研 ○平田 勇夫, 森本 立男
〃 市来崎哲雄</p> <p>(10) 超耐熱合金 Inconel 718 および A286 の熱間加工挙動について
日立金属安来 野々村敏明</p> <p>(11) 17Cr フェライト系ステンレス鋼の熱間圧延時の再結晶挙動
新日鐵光 吉村 博文, ○石井 満男</p> <p>(12) フェライト球状黒鉛鉄の基地部の高温変形能に関する基礎的研究</p> |
|--|--|

Nb 鋼の開発—II)

日新周南 足立 俊郎

広島工大機械 ○小西 正明, 中井 利郎

〃 齋藤 徳行

広大工 柳沢 平

14:30 (13) 低 C, N-11Cr-0.3Ti フェライト

系ステンレス鋼の脆化現象

新日鉄光 吉村 博文, ○南野 繁

広大工 武井 英雄, 畑山 東明

〃院 ○岡部 卓治

休 憇

(10分間)

特別講演 (15:00~17:00)

超塑性現象とその応用 広島大学工学部教授 武井 英雄

第 25 回自動制御連合講演会講演募集のお知らせ

主催：計測自動制御学会, 日本機械学会, 日本自動制御

協会 参加：日本鉄鋼協会ほか

開催期日：昭和57年11月18日(木), 19日(金), 20日(土)

会 場：奈良県文化会館(奈良市登大路町) [予定]

申込みおよび原稿提出締切：昭和57年8月23日(月)必着

講演申込金：3000円(申込時に現金書留または郵便為替
でお支払ください)問合せ・申込先 606 京都市左京区吉田河原町14番地
近畿地方発明センタービル内
日本自動制御協会(電話(075) 751-6413番)

13th IDDRG Biennial Congress

期 日：1984年2月20日～29日

場 所：Melbourne, Australia

主 催：International Deep Drawing Research
Group

Australian Sheet Forming Group

詳細は直接下記宛お問い合わせ下さい。

Dr. R. M. Hobbs,
Secretary, 13th IDDRG Congress,
Australian Sheet Forming Group
Private Bag 1,
HASTINGS, VICTORIA, 3195
AUSTRALIA

第 19 回X線分析討論会

共催：日本分析化学会, 日本化学会 協賛：本会ほか
13 学協会

期 日 9月9日(木)～11日(土)

会 場 明治大学大学院南講堂[東京都千代田区神田
駿河台1-1]

講演：一般講演20件, 特別講演7件

予約締切：8月14日(土)(必着) (8月15日以降のもの
は当日扱い)登録料(講演要旨集代を含む) 予約：3,500円, 学生
予約：2,000円, 当日：4,500円申込先 141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サ
ンハイツ304号 日本分析化学会X線分析研究懇談会
(電話：03-490-3351)International Conference on Martensitic
Transformations

期 日：1982年8月9日～12日

場 所：Leuven, Belgium

主 催：International Committee on Martensite

* また、同地において1982年8月6日～7日まで
International Summer Course on Martensitic
Transformationsが開かれます。

詳細は直接下記宛お問い合わせ下さい。

Prof. L. Delaey
Department Metaalkunde
Katholieke Universiteit Leuven de
Croylaan 2
B-3030 HEVERLEE (Belgium)Scaninject III
3rd International Conference on
Injection Metallurgy

期 日：1983年6月16日～17日

場 所：Luleå, Sweden

主 催：MEFOS, Jernkontoret

詳細は直接下記宛お問い合わせ下さい。

SCANINJECT III

c/o MEFOS

Box 812

S-951 28 LULEÅ (Sweden)

Metals Week 1982

期 日：1982年10月23日～28日

場 所：St. Louis, U. S. A.

主 催：ASM

詳細は直接下記宛にお願いします

American Society for Metals

Metals Park, Ohio 44073 U. S. A.

Tel. (216) 338-5151